

<全体分析>

試験時間 60分

解答形式

記述式

分量・難易(前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

設問数は昨年度と同じく 50 問。大問 4 題も昨年度と同様で変化なし。設問数、大問数ともに例年通りである。設問形式に関して、年度によって記号選択問題が出題されることもあるが、今年度はすべて記述式であった。

出題の特徴や昨年との変更点

古代以降の各分野が広く問われている。本学部で頻出である文化史に関して、今年度の出題は、10 問以上出題された昨年度よりは少なく 5 問以下であった。また例年通り、年号を問う設問が複数出題された。昨年度は大問単位で出題された第二次世界大戦後史であったが、今年度の出題は 2 問だけであった。

その他トピックス

全体の難易度は、昨年度よりもやや易化した。かつては頻出であった史料問題は今年度も出題されず、本学部の出題傾向・方針そのものが変化したと言えそうである。2022 年 2 月に始まるロシア軍のウクライナ侵攻以降、大学入試においてロシアの対外進出やウクライナ史の出題が増加しており、大問 I は、この傾向を反映したものであると思われる。なお、I (A)「カザン=ハン国」は、大学受験科の完全習得タイムにおいて空欄補充問題で扱っており、受講生には有利に働いたであろう。また、I (B)「ドニエプル」は、直前講習の「早慶大世界史テスト」において同様の形式で出題しており、ズバリ! 的中であった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述式	ロシアの対外進出 (15~19 世紀)	(A) カザン=ハン国は細かいが、2017 年の文学部でも出題されている。(B) キエフがドニエプル川沿いに位置していることは頻出事項。(F) アラスカ売却の年号はやや細かいが、問題文には「アラスカ購入から 2 年後、アメリカ合衆国最初の大陸横断鉄道が開通」という記述がある。大陸横断鉄道が開通した「1869 年」は重要度の高い年号であり、ここからロシアがアラスカを売却した年号を容易に判断できる。(G) にポーランドが当てはまることは、ポーランド分割を手がかりとして判断できるが、ロシアが北方戦争でポーランドと同盟を結んだことも、慶大文学部志望者であれば習得しておきたい。(J) 問題文中の「モルダヴィア」「ワラキア」からルーマニアと判断する。1878 年のベルリン会議の段階ではルーマニア「公国」であり、1881 年に「王国」となった。設問(5)第一次世界大戦の引き金となったサライェヴォ事件の舞台サライェヴォが、ボスニアの州都であったことから推測したい。	標準
II	記述式	ニジェール川流域 の歴史	(A)「ギニア湾」という地理的名称を知っているかどうか、解答のカギであろう。(E) 問題文中の「チャド湖の周辺」からカネム=ボルヌー王国を導く。(F) アフリカ大陸西岸で奴隷貿易を行っていた国で、現在のナイジェリア西部に存在したのはベニン王国、現在のベナンに存在したのはダホメ王国。問題文の「西ナイジェリア」という記述から、ベニン王国と判断する。設問(4)慶大文学部志望者であれば、スワヒリ文化圏諸都市の個々の特徴を押さえて区別できるようにしておきたい。設問(6)マンデラと混同しないように注意。	やや難

地歴公民(世界史) 慶應義塾大学 文学部 2/2

III	記述式	イタリア半島に興亡した勢力(古代～中世)	(A)『アエネイス』の著者ウェルギリウスが伏せられているので、問題文中に示されているあらすじや、題名の由来から判断する。(E)「修道院」「戒律」からベネディクトゥスを導く。(G) ルッジェーロ2世, (I) レヒフェルトの出来で差が開くであろう。	やや易
IV	記述式	チベットの歴史(4～18世紀)	問われている用語は基本事項が中心で、解答するのに必要な手がかりも明確に示されており、平易な大問であった。(I) 盛京(瀋陽)は、見落としがちな知識である。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

細かい知識への対策が必要とされる一方、本学部では「解答そのものは基本用語だが、解答にいたるプロセスで思考力・分析力が求められる設問」でも差が開く。早い時期から実戦的な問題演習に取り組んでおこう。また本学部で頻出である文化史や中国史では、かなり踏み込んだ学習が必須となる。年号を問う設問への対策も必須だが、単に年号を丸暗記するのではなく、「なぜこの年号が問われるのか」という、史実の重要性を考えながら定着させることが肝要である。一方で、第二次世界大戦後の出題は慶大の他学部に比べると多くはないものの、大問レベルで出題されることもあるので、習得を怠らないように。